

JRイーストユニオン「第2回中央委員会」 盛大に開催される

- I.安全への取組「事故の連鎖を遮断」!
- II.2016春季生活闘争方針を決定!
- III.参議院議員候補者「かわいたかのり」勝利!
- IV.JR連合の旗を守り組織拡大! 「イースト・イノベーション2016~2018」

ジェイアール・イースト・ユニオンの「第2回中央委員会」は2月13日、東京田町交通ビルにおいて、定刻に始まり議長を仙台地本 瀬戸中央委員を選出し、来賓には次期参議院選でJR連合が推薦している「かわいたかのり」候補(UAゼンセン)、JR連合中山政治・教育・広報部長に参加していただき開催した。

菅野中央執行委員長あいさつは、先ず「安全問題」について触れ、昨年4月から重大インシデントによる事故が多発している。11月にはJR社員(パート会社出向中)が死亡したいたましい事故が発生した。JR連合で提唱している「重大労災・死亡事故ゼロ」のもと「お客様JRグループ全体で働く労働者の死亡事故・重大労災事故ゼロ」に責任を持って取り組む。2016春闘では「純ペア3,000円と諸手当改善」、今夏の参議院選では「かわいたかのり」候補を支援する。最後に組織拡大を強く要請するとの力強い挨拶があった。

その後、執行部から議案の提起があり議事が進められ、質疑では中央委員から8名の発言があり、1.安全の取り組み重大インシデント 2.2016春闘は「社員のモチベーションアップ」・「グループ会社の賃金向上」3.駅業務委託問題 4.只見線等の不通区間の政策としてJREユニオン見解 5.教宣活動やHPの活用、教育の重要性 6.出向が拡大する中、出向先との労働条件と団体交渉のあり方 7.東京羽田駅等でのテロ対策の考え 8.社員の育成と技術継承問題 9. JR連合と地協・県協の取り組み、等の意見が出された。

執行部から答弁がされ、安全には妥協はない、東日本の中で組織拡大をしていかなければならない。更に東日本の若手社員の仕事に対する姿勢や労働組合に対する認識で「イースト・イノベーション」を出していく。今夏の参議院議員選挙に勝利する。提起された方針を満場一致で採択され、最後に菅野委員長の団結ガンバローを行い時間通り終了した。

JR連合の旗のもと「2016イースト春闘」、参議院議員選挙勝利
を目指します! イースト・ユニオンから「変革への挑戦」